

令和2年度第2回荒川区環境審議会書面会議意見等まとめ

1 開催日時

令和3年1月26日(火)から2月2日(火)まで

2 議事

- 1 荒川区地球温暖化対策実行計画パブリック・コメントの実施結果及び同計画(案)について
- 2 今後の区の環境施策に関するご意見等について

3 書面会議結果

議事1及び2に対する意見等の概要及び意見等に対する区の考え方・対応

No.	意見の概要	意見に関する区の考え方・対応
議事1 荒川区地球温暖化対策実行計画パブリック・コメントの実施結果及び同計画(案)についての意見等<8件>		
(1)パブリックコメントの実施結果に関すること<2件>		
1	資源回収率が16年間23区中1位という実績に誇りを持つ。その中で、自己満足の3Rに留まらず、未来を担う子ども世代にも当事者意識を持ってもらうため、費用対効果をデータで示すべきである。子どもが理解できるレベルで根付かせることができれば、持続的な環境保護につながると思う。	地球温暖化対策を実施した場合の効果等を、区民の皆様がより分かりやすく認識していただけるよう、日常生活・視点に基づく内容で今後の啓発事業等を進めてまいります。
2	多くの意見とそれに対する事務局の回答を確認した。今後の会議や事務局での調査結果も報告していただきたい。	今後も環境審議会等の場を通じて報告いたします。
(2)同計画(案)に関すること<6件>		
1	冊子に書かれているグラフや表について、分かりにくかったり、表現が統一されていない部分が見られる。	ご指摘をいただいた部分につきましては、可能な限り修正の対応をいたします。
2	冊子P34の「事業所や公共施設の省エネルギー行動の取組状況」については、今後「トイレの暖房便座」の「休日夜間のオンオフ徹底」や「夏季のオフ徹底」の実施状況も調査項目として加えてはどうか。	次回の調査時において、調査項目の一つとして検討させていただきます。
3	冊子P42「脱炭素社会へ転換していくためには、...若者世代へのアプローチは重要」という記載があるが、効果的かつ実効性のある啓発手法を考える必要があると思う。	今後の啓発事業等の実施にあたりましては、地球温暖化の状況がより深刻となっていることや、その対策・効果について、より具体的かつ分かりやすい内容で進めてまいります。
4	冊子P65「CSR」など、難しい専門用語等がいくつかある。	ご指摘をいただいた箇所につきましては、資料編に用語集を収録いたします。
5	冊子P71「グリーンリカバリー」の用語の説明を入れたほうが良い。 なお、グリーンリカバリーは、コロナ禍からの脱炭素型のライフスタイルへ変化をもたらすチャンスであると認識している。	「グリーンリカバリー」につきましては、区としても同様に認識しておりますので、そのような視点を持って啓発事業等を進めてまいります。 なお、用語の説明については、資料編に用語集を収録いたします。
6	冊子P76のLED街路灯の写真は他から借用しているが、他の写真と同様に、区内の写真を使用すべき。	区内の写真へ差し替えます。

No.	意見の概要	意見に関する区の考え方・対応
議事2 今後の区の環境施策に関するご意見等について<9件>		
1	<p>荒川区固有のエネルギー原単位やCO2原単位が把握できないことから、これら諸数値に関わる目標設定及びその達成評価については困難が伴うものと思われる。</p> <p>この実行計画において、より身近な所で各種の目標数値を掲げていることは、行政の立場から適切な判断であると思う。この実行計画に掲げた諸数値（参加人数、企業数等）に限定せず、幅広い観点から、行政に取り組まれることを期待したい。</p> <p>この他に、以下の2点を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコフワード宣言を行った事業者を集めて将来的に協議会のようなものを作ってはどうか。 ・学校や保育園なども同様の宣言をするような仕組みを作ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画を踏まえた環境施策の実施につきましては、ご意見にもごさいますように、今後の情勢を見据えつつ、幅広い観点から取り組んでまいります。 ・エコフワード宣言に関するご提案につきましても、ご意見のような視点も踏まえて、今後さらに充実策等を検討してまいります。
2	<p>今後はSDGsにおける環境への取組は多くなっていくものと予想され、現在も、さいたま市や23区等で特徴のある事業が行われている。シェアサイクル等の活動をもっとアピールし、今話題になっているSDGsで上位自治体に入ることを研究することが必要であり、上位に入ることが本計画の一番の広報となり、区民へのアピールにつながるものとする。</p>	<p>シェアサイクルにつきましては、COの排出削減に貢献し、三密を回避する「新しい生活様式」にも適合する交通手段であることから、今後も更に利用が高まると想定されますので、SDGsの達成に向けた施策の一つとしても認識しながら、区としても積極的にアピールしてまいります。</p>
3	<p>温暖化対策は、一人一人が意識をもって取り組んでいかなければならない事であるため、地道な啓発活動が大切である。目に見えた大きな結果もさることながら、少しずつであるけれど着実に進んでいるといったことが大事である。</p> <p>そこで、例えば、それぞれの部署に関わりのあるSDGsの目標のマークをシールなどで掲示してはどうか。ゴール4（質の高い教育をみんなに）は教育委員会、ゴール7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに）は環境課といった具合に。役所などにマークを掲示することで、区民の目に触れる機会も増え、意識も高まるのではないかと思います。</p>	<p>SDGsの目標マークの掲示につきましては、区役所の他部署と連携し、具体的な手法等について検討を進めてまいります。</p>
4	<p>庁内のペーパーレス化及び電気自動車の普及促進に向けて、尽力すべきである。</p>	<p>いずれも重要な取組と考えておりますので、区としても積極的に進めてまいります。</p>
5	<p>今回の会議資料に、ほとんどの問題点は出ていると思う。大変難しい点もあると思うが、まずは最も実行しやすい問題から取り組むことが大切である。また、区の助成金などもっとPRが必要だと思う。区民一人一人が行うことなので、区民に広く知らせることが重要である。</p>	<p>区民の皆様が日常生活の中で取り組めるようなことを、助成制度も含めて積極的に周知してまいります。</p>
6	<p>区役所は、一組織体として、脱紙資料の推進に向けてどう踏み出しているのか。私は会社の管理監督者だが、経営幹部の中には紙に依存している方も多い。個人的にこの問題を分析したところ、脱紙資料の障壁は主に高齢世代のデータ資料への不慣れ等が考えられる。</p> <p>区役所内の、脱紙資料の障壁となっているものは何か知りたい。まずは行政から脱紙資料を示し、民間企業に広めていくといったことが有効だと感じている。</p>	<p>区役所では、決裁文書の電子化や庶務システムの導入による申請書等のペーパーレス化を進めてきました。一方、会議室等では、電子資料に対応した機器や設備が整備されていない状況もあります。そうした中、現在区役所の一部の部署では、課内の会議をタブレット端末等を活用してペーパーレスで実施しているところも出始めており、環境課としてもこのような取組を後押ししつつ、全庁へ展開されるよう働き掛けてまいります。</p>

7	<p>石油由来の合成香料の商品が多く売られ、特に衣類に付いた柔軟剤の匂いで登校や出勤ができなくなる人がいると聞く。合成の香料は、やっかいなことに衣類はもちろん、プラスチック製品やソファやカーテンに至るものに染み込み取れなくなる。香害（化学物質過敏症）は公害だとする認識を持つべきである。</p>	<p>ご意見の香害の件につきましては、日常生活における環境保全の確保を進めていく中で、新たな一つの課題と認識しておりますので、今後調査研究を進めてまいります。</p>
8	<p>区立小学校においても、リサイクルやごみの分別等の学習、SDGsを通じた探究的な学習などを積極的に行っている。今後も地球温暖化対策にかかわる小学生への資料啓発や各種区としての取組をぜひ継続していただきたい。</p>	<p>子どもたちが地球温暖化対策を自分の身近なこととして認識してもらうことは、今後の区の環境施策において大変重要な視点であり、教育委員会等とも連携し、より分かりやすい啓発事業を実施してまいります。</p>
9	<p>良く調査、研究されている計画だと感じた。 学校現場でも、区取組に対して学ぶ機会を増やしていきたいと実感した。</p>	